

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%

保護者様： 14名回答、回答率 87%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・学習スペースと遊ぶスペースを分けている。
- ・静養室がない為、児童が落ち着ける環境を作る工夫は必要と感じる。

○業務改善

- ・法人内で定期的に職員の階層に応じた研修を実施し、受講ができています。

○適切な支援の提供

- ・外部講師をお呼びし研修を実施すると共に、研修を踏まえた支援内容を職員間で話し合うことが出来ている。

○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時には、担当の先生とコミュニケーションを図り、連絡事項、学校や事業所での様子を共有している。
- ・ご自宅への送迎時に、その日の様子や療育内容について丁寧に説明することを心がけている。

○保護者への説明責任等

- ・ご家庭から意見があった際には、教室職員内で共有し、具体的な改善策を話し合っている。
- ・毎月のニュースレターにおいて、前月分の活動時の写真を掲載するなどして、教室の様子をお伝えできるように工夫している。

○非常時等の対応

- ・毎月実施している避難訓練では、地震・火災・水害等の災害など様々なケースを想定し実施している。
- ・食物アレルギー児童が利用する日には、アレルギー品目を避けたメニューを組み安全におやつを提供が行えている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているかという設問においては、「建物の構造上、バリアフリーにできないのは仕方ない事だと思う」とのご意見を頂いた。
- ・職員の配置数や専門性は適切であるかの設問においては、満足頂いているとの回答が9割以上であったが、専門性については分からないとのご意見があった。

○適切な支援の提供

- ・子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか、活動プログラムが固定化しないよう工夫されているかの設問においては、回答者全員から「はい」との回答を頂いた。

○保護者への説明等

- ・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているかという設問においては、全ての方から「はい」との回答を頂き、送迎時に活動の様子を伝えてくれることで面談時もスムーズに話ができるとの意見を頂いた。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているかについては「どちらともいえない」との回答もあったため、周知方法については工夫を検討する必要がある。

○満足度

- ・通所を楽しみにしているか、事業所の支援に満足しているかの設問においては、回答者全員から満足とのご回答を頂いた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・落ち着けるスペースを確保するために、物品の位置を再度見直し、環境整備を行う。
- また、ダンボールハウスなどを作り、個別で過ごせる居場所作りを行う。
- ・送迎時お会いできないご家庭に対しては、支援計画の面談とは別に面談の実施をご提案し、責任者以外とも信頼関係を築けるようにする。
- ・教室内で研修に取り組める時間を増やし、児童理解や支援力向上などスキルアップに繋げる。
- ・ブログの担当者を定め、月1件以上のブログ更新を目標に取り組む。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・職員間で検討し、マットで分かりやすくスペースを区切る等して工夫して気持ちを落ち着かせることが出来るスペースを確保した。また、物品の位置を再度見直し、環境整備も行った。
- ・責任者との面談だけでなく、心理士資格を持った指導員とも面談を行う機会を設け、保護者との関係構築に努めることができた。
- ・今年度はブログの更新を行い、ニュースレター以外にも教室の活動の様子を発信する場を設けることが出来た。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・活動プログラムに偏りが出ないよう、月間目標に応じた活動案を職員間で検討し立案することが出来ている。
- ・法人内での階層別研修や外部講師を招いての研修を実施することで、社会人としてのスキルや支援力向上に繋がり、職員が向上心を持って業務にあたることができています。

○改善点

- ・より支援内容や教室の様子を確認できるよう、毎月ブログの更新を行う。
- ・緊急時対応等は再度ご案内を作成し、保護者周知の徹底が必要。
- ・職員の専門性について周知が必要。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・毎月ブログ更新を行い、教室の様子を対外的に発信できるツールを増やしていく。
- ・緊急時対応等について保護者周知の徹底を図る。
- ・職員の専門性明確にすることで、ニーズを踏まえた計画的な専門的支援を実施していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・教室職員でブログ作成担当者を月ごとで定め、月1件以上のブログ更新を行う。
- ・毎月取り組んでいる避難訓練の内容を報告するとともに、緊急時対応マニュアルを作成し、保護者周知を行う。
- ・教室内の職員紹介コーナーや保護者会で各職員の経験や専門性を周知することで、ニーズを踏まえた各種連携相談等の計画的な専門的支援を実施していく。

スマートキッズ